

「事業名:会津大学 浜通りロボット人材育成事業」 2020年度事業の概要

会津大学 連携市町村:南相馬市

現地拠点:南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番 福島ロボットテストフィールド研究棟 研究室5

事業のポイント

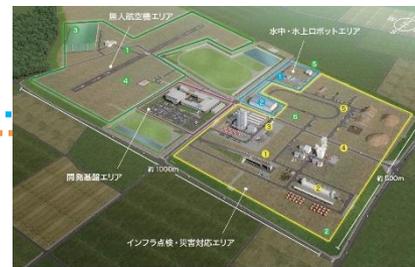
- 浜通りにおいてロボット産業創生・発展に必要なロボット及びロボットに関連するICT技術を持った人材を育成する。
- ワールドロボットサミット2020出場を通じて、福島県、特に浜通り企業の技術力を世界にアピールするとともに、浜通りの産学連携・ロボット技術共有・実習の自主的推進の体制づくりを支援する。
- 人材育成を通じて、RTF(ロボットテストフィールド)を活用する産学連携の基盤づくりに向けた方向性を検討する。

2020年度の活動内容

- 高校・専門校生へのロボット技術教育の継続
 - ・2018～2019年度作成のミニスパイダーを用いたさらに高度なロボットソフトウェア技術の習得
 - ・新たなセンサーの活用技術
 - ・シミュレータの活用
- 南相馬市チームのWRS2020参加支援
 - ・アドバイザーとして南相馬市ロボ協プロジェクトへの参加
 - ・合同操作訓練の実施
- プログラミング/IoT基礎教育の展開
 - ・高校生など若年層を対象にPepperやIoT素材を活用したプログラミング教室の開催
- 会津大学を始め福島県内外の大学や研究機関の学生・研究者を対象に上記プログラミング/IoT教育講師の育成
- 講師育成・大学生の実習等を通じて県内大学、試験研究機関等との連携の基盤育成



協定書を交わす門馬市長(右)と同理事長



ロボットテストフィールド(県HPより)



WRS2020に向けた遠隔操作訓練@RTF試験用プラント

取り組みによって得られる成果

- 若手のロボット人材育成(HW/SW技術・興味の醸成)
- 地元企業・学生のWRS出場・技術力PRによるロボット産業の振興
- 南相馬における会津大学活動の基盤となる産学・学生との連携